

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	考古学者
	オプショナル		年齢	女の歳を詮索したら死刑	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	加虐	初期侵食率	39	%
出自	経験		邂逅			

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	10
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	10
精神	4	0	0			4	戦闘移動	15
社会	3	0	0			3	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1	1	調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
幸運の兆し		0				アドヴァイス+戦場の魔術師+王者の声 ダイス+8 C-1 (下限6) 範囲視界、3人
吉兆の調べ (100以上)		0				アドヴァイス+戦場の魔術師+王者の声 ダイス+11 C-1 (下限6) 範囲視界、3人
幸運の兆し (80以上)		0				アドヴァイス+戦場の魔術師+王者の声 ダイス+10 C-1 (下限6) 範囲視界、効果二人増加

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
思い出のひとしな		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
		起源種	P	N	
		春日	P 腐れ縁	N 腐れ縁	
		プランナー	P 信頼	N 無関心	
		影上さん	P 連帯感	N 無関心	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	6	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果:								
オリジンレジェンド	1	2						
効果:								
アドヴァイス	5	4	メジャ	視界		交渉		
効果: C-1 ダイス+LV								
力の法則	3	4	オート	視界			100↑	
効果: ダメージロールの直前LV+1Dのダメージ追加								
戦場の魔術師	2	3	メジャ			リミ		
効果: 対象を3人に変更する。シナリオLV+1回								
王者の声	1	4	メジャ			社会		
効果: ダイスLV+2 シナリオ3回まで								
戦術	2	6	セット	視界				
効果: ダイス+Lv								
灰色の脳細胞	1		常時					
効果: 行動値に+精神								
ドクター・ドリトル	★							
効果:								
仕組まれた幸運	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

元人間のレネゲイドビーイング、人間だった頃の記憶を引き継いでいるので普通のレネゲイドビーイングより遥かに人間じみている。主にめんどくさがりなところがある。自分が死んだことを理解して「ふうん、あっそ」で済ませた究極の自堕落。もうちょっと真剣に考えて下さい姐さん。人間だった頃は考古学者をしており歴史や古文を読みふけており、自分が人外になったことを良いことに図書館の貸し出し禁止の本を読み漁っていたり貴重な文献を読んだり、ハッピーな人生です。一度死んだ人間の名前を使うのは気持ち悪い、と本名というか昔の名前は絶対に名乗らないので誰も知らない。

実は先祖が妖精によってチェンジリングをして戻ってきたので、彼女は半ば先祖返的にレネゲイドウィルスによって転生した。なので彼女の外見は妖精？まあぬいぐるみみたいな感じである。妖精の言葉は不思議な言葉で何処からか幸せを運んでくることからいつしか「幸せの知らせ」と呼ばれるようになった。幸せの裏には他の人の不幸が有るのを分かりつつ、自分の新しい名前を誇りに思っている。名前という贈り物をしてくれた隣人、UGNにすこーし、恩返しをするのが密かな楽しみである。妖精は子供が好きであるがゆえに、彼女もまた子供には無意識的に優しい。大人はどうでも良い。人間の頃とは思考や思想が全く違うことを理解しており、昔の自分のことは誰かの記憶、胡蝶の夢のように受け入れている。きつと自分は夢を見ていたのだ、人間の女性の産まれてから死ぬまでの一生の変哲もないただの夢を。